

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 北海道
- ・派遣先 立命館慶祥高等学校
- ・授業タイトル 海洋学と気象学：地球温暖化を考える
- ・講師名 渡辺 豊（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
- ・派遣年月日 2018年12月22日～12月24日

派遣者コメント

立命館慶祥中学校・高等学校スーパーサイエンスハイスクール重点枠事業の一環として実施された「数理・科学チャレンジウインターキャンプ2018」（2018年12月22日～12月24日）において、3日間にわたり、一コマ90分の5コマの授業を行いました。このキャンプの目的は、国際科学オリンピックの日本代表生徒を輩出する取組を行うもので、目標1：国内本選および日本代表選考に進出する生徒を輩出すること、および目標2：科学オリンピック国内予選にチャレンジする生徒が増やすことで、キャンプ参加者として北海道内の中高生が89名集まりました。

本出前授業では、日本地学オリンピック国内予選突破を目指す札幌市内の高校生3名に、海洋学と気象学を基盤に、日本地学オリンピックおよび国際地学オリンピックの海洋・気象・地球温暖化分野の問題の傾向と対策を行う授業を実施しました。参加人数は3名と少なかったですが、海洋学・気象学・地球温暖化に対する興味を持ってもらえるよう授業を工夫し、概ね好評でした。しかし、このキャンプには、その他の分野として、数学、物理、化学、生物オリンピック予選を目指す授業もあり、これらへの参加者がそれぞれ10～30名と地学分野と比べ多いのが現状でした。今後は、海洋学を含む地学に少しでも興味を持つ参加中高校生を増やすためのさまざまな試みが必要であることを実感し、今回の出前授業は多いに勉強となるものとなりました。

最後にこのような機会を与えてくださった関係各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。